

おきむら

興村脳神経外科クリニック通信

(毎月15日発行)

<第38号> H28. 2月



乾燥しておりますので
風邪等にご注意下さい♪

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第38号をお届けします。バックナンバーは
当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。
予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が
変わります

年1回の人間ドックを受けてきました。私は若い頃からの高「血圧」（これは自分の不摂生の所為ではなく、父からの遺伝であると自らに言い訳、自らを慰め続けていますが）で治療中です。一方、「コレステロール」は常に正常値（私の体型からは意外と思われるかもしれませんが）で自慢でした。残念なことに初めて悪玉「コレステロール」が上限をほんのわずかに超えてしまいました。先生の見終診察の際にパソコン画面に出た数値を覗き見し、私の素人判断（第12号参照）では薬の必要はないと確信しながら結果説明を聞きました。先生は通信第6号に登場したことのある女医さんで、相変わらず「綺麗な薔薇には棘がある」を地でいくような厳しいご指摘を頂戴して参りました。「今の生活習慣を早期に見直さないと危険です。この数年間で改善が一つも見られません。」と。反省です。

さて今月の話題は『血圧』と『コレステロール』です。

私がやっていた脳の手術(比較的易しいものから神の手が必要なものまで様々ですが)は誰にでも出来るものではありません。患者さんの脳に触れることが許されるのは十分な心技体を有するものだけであると今でも思っています。裏付けのある自信を持って真摯な態度で患者さんに説明すれば治療方針を受け入れていただける事が多かったように思います。一方『血圧』と『コレステロール』の治療開始に際しては患者さんの同意がいただきにくい事もあります。脳腫瘍は画像で患者さんに見ていただくと、インパクトのある、言わば見える敵なのに対して『血圧』や『コレステロール』は無味乾燥な数値だけが治療開始の基準になる見えない敵なので薬を飲み始めることへの抵抗感と戦うことは決して容易ではありません。でもこれらの放置の先には心筋梗塞や脳梗塞の危険を高めるといふ紛れもない事実も存在しています。自らもこの見えない敵に挑戦し続け、患者さんにいかに『血圧』や『コレステロール』の経過観察、時には薬物治療が重要であるかを丁寧に説明出来る、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。
70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック